

令和2年度活動計画について

① はじめに

『革新・深化～町を元気にするために～』

スサノオの風は、法人設立の原点、「文化」「スポーツ」の振興を図りながら、人口減少が加速する佐田地域の活性化のために地域振興に一層の力を注ぎ、佐田地域民から信頼をより高め、活動の深化を図って行きたいと考えます。

② 各部門の事業方針

【本部関係】

- ・理事・社員が協働し、法人の使命を深化させていきます。具体的には、副理事長や新しく文化事業担当理事、会員・財源確保担当理事を設置し定期的に協議を重ね、理事会での意見活性化を図っていきます。
- ・法人の継続性を図るため、事務局長の選任など社員養成に努めます。
- ・クラウド（キントーン）の活用により、事務の効率化、ペーパーレス化を図っていきます。また、社員会議はオンライン会議に移行します。
- ・助成制度の活用や寄附金など財源確保に努力するとともに、効果的な支出に努めます。
- ・「風のたより」毎月発行を3か月に1回の発行など、情報発信をより充実させます。
- ・佐田町文化協会、出雲市体育協会佐田支部等の事務局を引き続き担当させていただきます。
- ・出雲市レンタサイクル事業の委託事務を担当しますが、今後の方向性について市と協議していきます。

【スサノオホール・佐田スポーツセンター・文化練習館】

- ・令和2年度も指定管理契約を受託することとなりましたが、利用者の増加、自主事業の実施、安全・適切な施設管理に努めます。また、出雲市では今年度公共施設の在り方の見直しが見直しが実施されるので、ホール等の存続性が保たれるよう働きかけや事業の展開をしていきます。
- ・ホールでは、空調施設の老朽化による公演時への支障など数多くの修繕箇所があります。また、洋式トイレへの改善など利用者の立場にたつて施設改善を要望していきます。
- ・ホール等自主事業の企画運営には佐田地域内外の若者も参画していただきます。
- ・休館日は社員を配置しない完全休館日とします。（ホール 月曜日 スポセン・文化練習館 毎月第4水曜日）

【障がい者福祉事業】

- ・障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、利用者の減少があり、経営的に苦しい一面もありますが、今後も利用者視点に立ち親しまれる施設づくりを進めていきます。また、業務後継者についても考えていきます。
- ・ナカバヤシ(株)からの軽作業の受注、(農)橋波アグリサンシャイン等と連携した、野菜の収穫作業の手伝いなど「農福連携」を今年度も重点的に進めていきます。
- ・また、「朝日たたら」の管理も継続して行います。
- ・相談支援事業については、今後も積極的に実施していきます。

【小さな拠点づくり支援業務】

- ・佐田地域の課題解決に向け、佐田自治協会の「佐田地域戦略会議・小さな拠点・雇用創出部会」の事務局を担当します。
- ・昨年開設された「島根大学 佐田サテライトラボラトリー」(通称 さだらボ)と協働し、コミュニティ活動の充実を図ります。
- ・各振興協議会単位での研修会、地域計画策定など地域づくり活動を支援します。
- ・若者・女性の実践活動の支援、集いの場の創出を図ります。
- ・社員研修の充実と関係機関との連携を図ります。

【経済活動の活性化を図る事業】

- ・さだのちいさなマーケット「cotaba」の拡充を行います。
- ・新型コロナウイルス感染拡大により不透明な第3種旅行業ですが、佐田地域内外に販促をかけていきます。
- ・佐田地域にちなんだグッズ等の開発を行います。

【その他事業の展開】

- ・ホームページ、フェイスブックを積極的に活用していきます。
- ・会計、労務管理、PC管理については専門職へ相談・指導を受けながら対応していきます。
- ・理事・社員の福利厚生事業(1日研修)の充実を図ります。